

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

December / 12 / 2014 # 21

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

INDEX

[1] 旬な話題、気になる話題

『アンサンブル』

[2] Pepeのひとりごと

『音楽表現』

[3] おすすめ動画

『Demondrae Thurman - Barfield Concerto for Euphonium』

『Euphonium - Tonguing Exercises』

[4] 演奏のヒント！

『スランプを避けるために』

[5] 編集後記

[1] 旬な話題、気になる話題

『アンサンブル』

ずいぶん寒くなってきましたね。

寒くなってくると、やっぱり「アンサンブル」って感じがしてきませんか？（笑）

地域によってはアンサンブル・コンテストの地区大会が終わってしまってますが、まだのところも多くあると思います。

僕の住んでいる愛媛県では12月末に地区大会があるので、今が

最後の追い込みの時期まっただ中です。 :)

(僕のやっていた頃の愛媛は地区大会がなく、1月に入ってからいきなり県大会でした)。

僕は、アンサンブル・コンテストに出る出ないに関わらず、アンサンブルをすることには大いに賛成です。

ものすごくいい勉強&経験になるので、この時期だけとは言わず、ぜひ年中隙間の時間でいいのでどんどんとアンサンブルをやってもらいたいと思っています！

アンサンブルをするメンバーが集まらないという人は、自分以外の人が一人いれば、工夫次第でアンサンブルをすることはできます(楽器を選ばず)。

例えばロングトーンの練習にしても、2人で違う音(音程の合いやすい音。例えば「ド」と「ソ」など)を吹いて、音程を合わせながら練習をすると、それだけで1人で練習することの何倍もいい勉強と経験になります。

やればやるほど奥が深いものですが、知れば知るほど好きになっていくのが音楽だと思います！

ぜひみなさん、この時期のアンサンブルの波に乗ってどんどんアンサンブル大好き人間になってみましょう～！ :D

[2] Pepeのひとりごと

『音楽表現』

ここ数週間、自分の中に新しい「認識」が入ってきました。それは、音楽表現について。もっとわかりやすく端的にいうと、「演奏時の音量操作」についてです。

最近聴く音源の演奏を聴いていて考え始めたことなのですが、演奏をする時、『書かれている音量表示(音量指示?)に忠実に演奏したからといって、その曲が一番素晴らしくなるとは限らない』ということ。

例えば、「mfと書かれていても、堂々とfくらいの音量で演奏している」「pと書かれていてもmfくらいの音量で演奏している」ということです。

今までの僕の中では、これはダメなことでした。でも、これはある意味「アリ」だな、と考えるようになった

のです。

楽譜上で指示された音量で演奏できる技術はものすごく大切なことで、もちろん演奏者はそれを持ち合わせていないといけないわけですが、曲、音楽としてそれを指示通りに演奏することが「音楽作り」になっていると簡単に思ってしまう（信じてしまう）ことはよくないことだなあ、と思ったわけです。

これからは、まず一度は楽譜上の指示に忠実に従って曲を仕上げ、そのあとさらにそういうことを踏まえてもう一度吟味しなおして音楽作りに取り組んでみようと思っています。

*ちなみに、コンクールにおいては楽譜上にある指示を守ることをオススメします。:)

ここで大事なのは、「自分がそれをやっている」ということではなく、「それをやっているように聴いている人が判断できる」ということを意識して曲作りをすることです。

自分からの目線で判断をすると、聴いている人との差がどうしても出てきてしまいますからね。そういう差をなくすためにも、自分の演奏を録音して聴きながら練習するのはいいことだと思います。:)

[3] おすすめ動画

『Demondrae Thurman - Barfield Concerto for Euphonium』

[https://www.youtube.com/watch?](https://www.youtube.com/watch?v=JwmcZ8X9HyA&index=3&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg)

[v=JwmcZ8X9HyA&index=3&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg](https://www.youtube.com/watch?v=JwmcZ8X9HyA&index=3&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg)

今月の動画は、Euphoniumの動画を2つ！

一つ目は、Anthony Barfield作曲の新しいEuphonium Concertoです。

演奏は、ソロではもちろんSotto Voce Quartetなどでも大活躍しているアメリカのDemondrae Thurmanさんです！！

すごくチャレンジングな大曲ですが、とてもきれいに、かつパワフルに演奏しています。

ソロ譜も見れるので、チャレンジするかのいい判断材料になると思います。

興味のある人は、ぜひチャレンジしてみてくださいね！！ :D

『Euphonium - Tonguing Exercises』

<https://www.youtube.com/watch?v=St43q5zJsQc>

2つ目は、Euphonium界の巨匠Brian Bowmanさんが、動画で公開しているマスタークラスのタンギング編です。

何かの拍子で見つけたのですが、他にもたくさんいろいろな動画があるようです。

僕はまだ全て見たことないのですが、みなさんは他のものもぜひ見てみてくださいね！

Brianから直接レッスンを受けたことある人もそうでない人も、いろいろな発見があると思います！

[4] 演奏のヒント！

『スランプを避けるために』

楽器演奏にも、スポーツ選手などで言われている「スランプ」というものはあります。

僕自身も実はスランプを昔経験したことがあり、今はその経験がレッスンをするにあたってとても役に立っています（スランプに陥ったことのない人は、スランプに陥ってしまった人に対してレッスン=サポートをすることはムリなのではないかと僕は思っています）。

あの気持ち、不安感、絶望感は経験した人でないとわからないし、乗り越えた人じゃないとその苦労もわからないと思っています。

今回は、そのスランプにならないようにするためのひとつのヒントを。

いくつかヒントはあるのですが、今日は

「アンブシュアは簡単にはいじらない！」

ということをお伝えします。

調子が悪いとすぐにアンブシュアを疑ってしまい、その時に少し口の形を変えたら音が良くなった、と思ってしまい変えてしまうことがあります、それは危険です！！

その後、全く問題なく元に戻ることができればいいのですが、そういう人はごく稀だと思います。

今まで1年以上大きな問題のなかった人が、アンブシュアが原因で急に調子を崩すということは僕はないと思っています。アンブシュアに無理がある状態で吹いていると、数ヶ月で調子を崩す可能性はあると思います。しかし、1年以上（週に1回くらい

吹くペースで) そのアンブシュアで吹き続けられていたのであれば、原因はアンブシュアではないと思います。

まずは実際にレッスンを受けてアドバイスをもらうことを一番にオススメしますが、それができない場合は、なるべくアンブシュアはいじらないようにしましょう。

それをやってしまうと、そのあとでレッスンを受けても修正がうまくできなかったり、時間がかかってしまいますよ。

編集後記

数年前から撮り進めていた有名なエチュード「Kopprasch」の動画、先日やっと60全てを撮り終えることができました～！！ :D

ここからすべて見ることができますので、お時間あるときや興味のあるものをぜひ見てみてくださいね！ ;)

[https://www.youtube.com/watch?](https://www.youtube.com/watch?v=7DQC9bHOD5w&index=1&list=PLVTxZF9fjY07PianLW4yTN6GyPMFMbEFZ)

[v=7DQC9bHOD5w&index=1&list=PLVTxZF9fjY07PianLW4yTN6GyPMFMbEFZ](https://www.youtube.com/watch?v=7DQC9bHOD5w&index=1&list=PLVTxZF9fjY07PianLW4yTN6GyPMFMbEFZ)

実は今、スペインの「Romera Brass」さんに、ユーフォニアム用のマウスピースの僕のモデルを作っていただいています。

1月か2月のうちには完成して、そのまた少し後に販売開始になると思います。

その際にはぜひ試してみてくださいね！！ :D

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

info@pepeabe.com